

令和6年度 学校評価アンケート（7月結果：保護者記述）

保護者の皆さま、7月の学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。
ご意見やご要望の内容をカテゴリーごとにまとめ、お答えします。

○体育着登校の要望について

これまで本校においては、中学校卒業後の社会で求められる「場に応じて身なりを整える意識の涵養」を目的に、制服着用の指導を行ってきました。しかし、本校建て替えによる校外での体育学習実施の対応や、コロナ禍における更衣室での3密回避という健康問題に直面し、体育着登校を余儀なくされる時期がありました。その後、新校舎による学習が始まり、昨年5月のコロナ類型移行に伴って、目的に向けた制服着用の指導を再開したところです。ただ、昨今の猛暑により「熱中症予防」という新たな健康問題が発生し、要望がある猛暑日における「体育着登校」について、検討が必要な状況であると認識しています。制服着用の指導目的を踏まえて、早急に対応を検討いたします。

○制服の素材について

本校においては、以前から女子生徒の夏制服（上着）についての素材変更を検討してきましたが、現行の制服より価格が高くなることがわかり、断念した経緯があります。
保護者の経済的負担を考慮しながら、今後も取扱業者と相談して検討を継続します。

○「ふるさと伝統芸能まつり」について ※学校だより（第5号）より

ふる里伝統芸能まつり（ふる伝）の取り組みにつきまして、各支部長さんを中心に保護者や地域の方々のご協力に心より感謝申し上げます。

大人も子どももそれぞれ予定がある中で練習を進めていくのは、様々な課題があると思います。しかし、毎年そのような課題をどうにかクリアしながら、今年で27回目を迎えられるのは、やはり、ふる伝のすばらしさと子どもたちの成長に寄与する面が評価されているからではないでしょうか。一方、時代の変化と共に持続可能なものにするためには、ふる伝への取り組み方や内容などについて工夫や改善が必要だと思っています。

ふる伝終了後に各支部のご意見をいただき、次年度以降の開催に向けて検討したいと思います。

○「学習規律」について

「学習規律の徹底」について、ご指摘がありました。私語等により授業に集中できない状況が生まれることを重く受け止め、教職員間の連携を強化して学習環境の改善及び、子ども達への指導強化を行って参ります。

○「本校テスト改革」について ※学校だより（第5号）を踏まえて

時代の変化に伴って社会で求められる力（資質・能力）が大きく変わり、各学校においては令和3年度から現行の学習指導要領による教育実践が展開されています。それに伴い、知識重視になりがちであった従来の定期テストは、学習状況のみとみや評価材料にそぐわなくなり、テストの在り方について改善が必要となりました。

そこで本校においては、今年度より学習内容のまとまりで理解度を確認する単元テストを導入し、その他の評価材料と合わせて段階的に学習状況の評価することとしました。そのことについてお知らせが遅れ、ご心配をおかけしたことをお詫びいたしますとともに、何卒、本校テスト改革に、ご理解を賜りますようお願いいたします。

なお、単元テストは生徒個々に返却していますので、お子さまの結果についてはそちらをご確認ください。

また、これまで席次として示してきた所属学年における相対的な状況は、年2回の実力テストでご確認ください。

○「学習評価」について

中学校における学習評価は、各教科の内容について「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から学習状況を把握し、各観点の目標と照らし合わせてABCの3段階で示すことになっています。その学習状況の把握は、日々の学習活動の様子（ノートやワークシート等の記述内容、授業中の発言内容、学習活動へ取り組む態度、生徒の自己評価や相互評価など）や課題に対する成果物（提出物や作品の完成度など）、論述やレポート、グループでの話し合い、作品の制作や表現等のパフォーマンス評価、理解度を確認する形成テスト（小テスト、単元テストなど）などを用いて行われ、決してペーパーテストの結果や提出物の有無のみを評価として反映することはありません。

さらに「評定」は、観点別評価の総括を学校の基準に照らし合わせて、5段階で表すことになっています。（本校例：「AAA→5（特に程度が高い学習状況）」「BBB→3（おおむね満足できる学習状況）」「CCC→1（いっそう努力を要する学習状況）」。

なお、本校では把握した学習状況を、総合的な評価や評定の決定及び通知だけでなく、適宜、生徒個々へフィードバックし、段階的な学習課題の改善につなげる工夫をしています。

また、各教科、各単元によって学習目標や学習内容が異なりますので、個別の学習状況については学級担任を通して教科担任にお尋ねください。

○「個別指導の充実」について

学習に対する苦手意識がある生徒について、きめ細かな指導の要望がありました。

授業中の指導や自学自習の支援、また、地域ボランティアを活用した放課後の補習指導など、個に応じた指導・支援の強化をしていきたいと思っております。

保護者の皆さまのご協力もお願いいたします。

○「進路の選択肢」について

進路について、どのような選択肢があるか知りたいとの要望がありました。

本校では、中学卒業後の進路選択を人生における大切な決断の1つと認識しています。

中学校卒業後は、高校進学だけでなく専門学校や就職など、様々な選択が可能です。

生徒個々の興味関心や将来像を確認しながら、進路選択を支援したいと考えています。

なお、県内県立高校の紹介については、「進路だより」を発行予定です。

また、進路相談は随時受け付けていますので、学級担任へご相談ください。

○「職場体験」について

職場体験学習について、個別対応のご要望がありました。

本校における職場体験学習の目的は、実社会で必要とされるコミュニケーション能力や課題解決能力、協調性、責任感、主体性、自立心などの汎用的能力を育むことです。

各職場で働く方々から直接、ご指導いただき、社会で働く基礎的な能力の重要性について実感できるように、お世話になる方々と相談しながら計画したいと考えています。

なるべく、子ども達の興味関心に寄り添いながら体験場所を決めたいと考えていますが、協力企業の状況もありますので、ご希望に添えない場合もあります。

保護者の皆さまにおかれましては、職場体験学習の目的をご理解いただき、体験活動にかかる指導・支援のご協力をお願いいたします。

○「ペーパーレスの取り組み」について

市内各学校においては、環境保全と印刷業務の軽減などの視点からペーパーレス化が進められています。

保護者の皆さまにはお手数をおかけしておりますが、引き続き、本校のペーパーレス化にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、メールやLINEにて発出していますデジタル文書については、タイトル等を工夫して重要文書の確認がしやすいように改善して参ります。

○「担任や担当者との連絡」について

担任への相談や本校職員からの入電に対する折り返しのご連絡をいただいたにもかかわらず、担当者へ繋がりにくいことがあり、ご迷惑をおかけしています。

授業中や放課後の活動等で担当者が不在の場合、業務時間内の対応を基本として可能な限り当日中に折り返し連絡をいたします。その際には、対応職員へ伝言を依頼し、連絡をお待ちいただくようお願いいたします。

なお、翌日以降の連絡になる場合がございますことを、ご理解ください。

○「三者面談時期」について

1学期の三者面談時期について、早めて欲しい旨のご要望がありました。

今年度、三者面談を夏季休業中に設定した理由としては、①年間総授業時数を確保すること。②3学期制の評価時期との兼ね合い。③中体連県大会出場部活動との兼ね合い。などがあります。様々な状況を考慮した計画となっておりますので、ご理解をくださいますようお願いいたします。

なお、個別相談は、随時受け付けておりますので、学級担任及び関係職員へご連絡ください。

その他、ご意見・ご要望につきまして対応を検討し、より良い学校運営に努めていきます。また、アンケート方法に対するご指摘がございましたので、改善して参ります。

12月の学校評価へのご協力も宜しくお願いいたします。